

平成24年度 【 学園研究費助成金<A> 】 研究成果報告書

学部名 生活科学部

フリガナ ハシモトマサヨシ
氏名 橋本雅好

研究期間 平成24年度

研究課題名 デザインイベントの実践による大学と地域との連携の可能性とデザイン教育での効果に関する研究

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	橋本雅好	生活科学部	准教授
研究分担者			
研究分担者			

1. 本研究開始の背景や目的等 (200字~300字程度で記述)

本研究は、椙山女学園との関わりの深い星が丘地区と城山・覚王山地区において、デザインをキーワードとした、大学研究室と地域との連携によるイベント企画によって、星が丘、城山・覚王山地区を中心とした地域活性化の可能性と学生へのデザイン教育における実践的活動の効果について検証することを目的としている。具体的には、これまでに調査した日本全国で実践されているイベントやインスタレーションを用いたまちづくり、地域活性化に関する事例分析によって得られた手法を、星が丘、城山・覚王山地区の地域特性と照らし合わせ、星が丘テラスにある飲食店「comer」や城山・覚王山地区で活動している「ちくさ・文化の里づくりの会」などと協働しながら、星が丘テラス、および、揚輝荘や覚王山日泰寺参道を会場としたイベントを実施する。それらの成果を元に、大学と地域とのデザインを通じた地域連携の可能性を探り、また、学生へのデザイン教育における実践的活動の効果について明らかにする。

2. 研究方法等 (300字程度で記述)

1) イベントやインスタレーションを用いたデザインイベントの視察

日本各地で開催されているイベントやインスタレーションを用いたデザインイベントの代表的な事例については、現地視察および実施団体関係者へのインタビューをおこない、デザインイベントの企画内容によって類型化をおこなう。

2) デザインイベントの実践

橋本雅好研究室として、これまで5年間で関わった NAGOYA DESIGN WEEK や覚王山参道ミュージアムへの参加から培われた地域との連携を活用して、星が丘テラスにある飲食店「comer」との連携では、「橋本雅好研究室と comer とのコラボレーション企画」を実施。また、ちくさ・文化の里づくりの会と協働では、城山・覚王山地区の魅力発信事業をおこない、揚輝荘や覚王山日泰寺参道を会場としたイベントやインスタレーションを企画し、作品制作およびイベントマネジメントをおこなう。

1) 橋本雅好研究室と comer とのコラボレーション企画」として、4月～9月にかけて、株式会社 Japan Food Expert、椛山女学園大学管理栄養学科 石原・内藤研究室、生活環境デザイン学科橋本雅好研究室の連携によるプロジェクトチームによる打ち合わせをおこない、収穫体験・食材説明会の経て、2012年11月4日に、星ヶ丘にあるデザインの間にて、「fooco lab. with comer お弁当コンテスト」を実施した。専門家および一般の審査員により、最優秀作品に選ばれたお弁当は、11/28～12/4の期間限定で店頭販売がされた。

2) 揚輝荘を会場としたイベントやインスタレーション企画として、4月～7月にかけて、ちくさ・文化の里づくりの会での打ち合わせをおこない、7月～10月にかけては、合計5000個を超える部品を制作し、2012年10月27日～11月4日では、覚王山参道ミュージアム vol.13の出展作品として、インスタレーション「たわむれとうつろい」を展示した。期間中、1000名を超える来場者となり、「和と儂さが混ざり合った展示が白雲橋に合っていた。」といった声を得た。

今回の企画では、食を通した大学研究室と地域との連携の可能性を見いだし、揚輝荘のような歴史的に素晴らしい文化施設に作品を展示することによって、ものづくりを通したアートイベントが、大学研究室と地域との連携に大いに活用できることが明らかとなった。今後もこのような地域連携を続けていくことで、大学と地域の連携が深まり、地域の魅力を伝えていけるだろう。

4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

①地域連携	②デザイン	③城山・覚王山地区	④大学
⑤イベント・企画	⑥揚輝荘	⑦	⑧

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著者名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもの数件を記載。)

本研究は、椛山女学園大学研究論集に投稿し、さらに、今後の椛山女学園大学と星ヶ丘地区との地域連携を強化していく資料としてまとめ、トウキョウ建築コレクションのプロジェクト部門への投稿予定である。